

# 鋼管充填コンクリートとして適用可能な高流動再生骨材

## コンクリートの開発

高橋 祐一<sup>1)</sup>, 竹内 博幸<sup>1)</sup>

### Development of High Fluidity Concrete Using Recycled Aggregate Applicable to CFT Concrete

Yuichi Takahashi<sup>1)</sup> and Hiroyuki Takeuchi<sup>1)</sup>

#### ■ 要 旨 ■

適用部位が限定されている再生骨材 M を用いた再生骨材コンクリートの適用範囲拡大を視野に入れ、コンクリート充填鋼管構造(CFT造)の鋼管充填コンクリートに使用することを目的として、3種類の混和材を使用した高流動コンクリートの室内ならびに実際のプラントを使用した試し練りを行い、それらのフレッシュ性状および力学性状、構造体強度補正值について確認した。その結果、高流動再生骨材コンクリートの各性状は、普通骨材を用いた高流動コンクリートと同等であることを確認した。また、鋼管充填コンクリートに使用する場合に重要となるブリーディング量および沈降量についても、各基準値を満足することを確認した。さらに実験により得られたデータを基に、建築基準法第37条第二項における国土交通大臣認定を取得した。

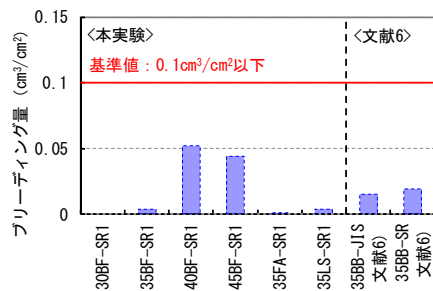


図-3 ブリーディング試験結果(室内)

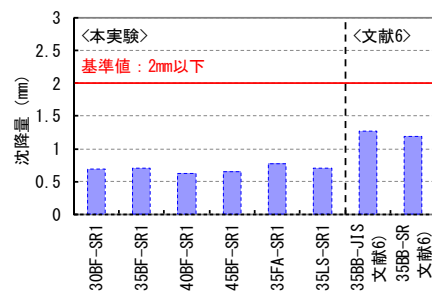


図-4 沈降量試験結果(室内)

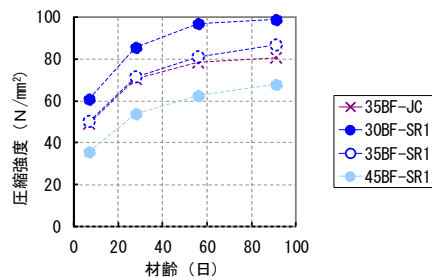


図-15 圧縮強度試験結果  
(実機:標準養生)

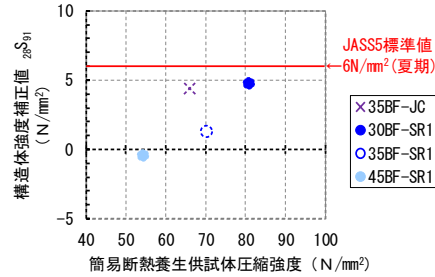


図-17 簡易断熱養生供試体圧縮強度と  
28S91 の関係

1) 技術研究所 建築技術開発部